

1. 第3回蒲田駅周辺地区ランドデザイン専門部会（2/13）にて頂いたご意見への対応（骨子への反映）について

○「将来像・目指す姿・基本方針・目標」に対するご意見への対応（案）

専門部会でいただいた意見	対応（案）	骨子
<p>区として産業技術をアピールしているのであれば、方針を出すべきである。川崎では駅前で東芝による実証実験をやっている。蒲田でも新しい技術を取り入れた実験のような色があっても良い。</p> <p>例えば、にぎわいの創出に向けて、住民、観光客、学生にセキュリティの高いWi-Fi環境をちゃんと整備します、などの取組を検討した方が良い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「蒲田に求められる役割」に、「未来のライフスタイルへの対応や先端技術の活用を意識する」ことを追記。 ・「まちの将来像」には、先端技術を活用したまちの姿を描く。 	P4・5
<p>基本方針1「多彩な活動が創出されるまち」とは、略すと「活動・交流・にぎわいの創出」を意味し、「複合用途のまち」だと言っているように感じる。蒲田は様々な用途が混ざり合い相乗効果を生み出していることが魅力なので、全体を通じてそのような雰囲気が伝わると良い。</p>	<p>「まちの将来像」の中で、人々の多彩な活動や、複合的な用途が生み出す魅力を守り育てていく視点を追加。</p> <p>それらが融合することを意識し、APを検討していく。</p>	P5
<p>ツリーシステムにより整理されており分かりやすいが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後に目標ごとにもう一度繋いでも良い。目標5・6・8を足すと歩行者の豊かな動がランドレベルに見えるまちが作られることが読み取れる。 <p>例えば、パブリックスペースは「にぎわい」だけでなく、「防災」のためでもある。アクションプランを検討する時に、それぞれがどのように繋がると、どのようになるのか分かるように出来ると良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蒲田は色んな人が集う結節点のため、一つの目標の収めようとせず、「クリエイティブに頑張ろう」といった、皆でまちを作っていく姿勢を示す方針を出してはどうか。 	<p>「まちの将来像」の中で、横串に刺す視点も考慮し、多様なAP・取組みの中で、さまざまな目標が同時に実現される姿を示す。</p>	P5
<p>平成30年パーソントリップ調査から外出率が低下傾向にあることが分かっている。蒲田は色んなものが高密度・高機能かつコンパクトに集積されているので、「外に出て活動したくなるようなまちづくり」が必要である。目指す姿にそのようなキーワードを盛り込んでどうか。</p>	<p>「まちの将来像」に、屋外での活動が活発な様子を示す。</p>	P5

○「エリア別の取り組み」・「広域構造図」に対するご意見への対応（案）

専門部会でいただいた意見	対応（案）	骨子
<ul style="list-style-type: none"> ・議論が煮詰まっていない中で骨子としてこれを出すのは厳しいのではないかと。 ・商業中心エリアと蒲田駅周辺エリアが重複しているところがある。エリアとして位置付ける意味を整理する必要がある。 ・骨子段階では、道路の上の具体的な軸までは表現しなくて良いではないかと？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・骨子の段階では、抽象化したエリア図とする ・中心軸を、線路を横断する太い矢印で表現する 	P14
<p>エリア別取組のエリア設定について、第一京浜で区切らず、少し広めに入れても良い。</p>	<p>第1京浜の東側皮1枚をエリアに追加</p>	P14
<p>広域構造図について、臨海軸の方向等、事実として分かっていることは入れた方が良い。</p>	<p>都市マス改定骨子「広域でみた将来都市構造」に合わせる</p>	P4

2. 第3回改定検討部会 骨子（案）からの変更事項

第3回蒲田 GD 改定検討部会 骨子（案）	変更後
<p>体裁 A3</p> <p>1. 蒲田駅周辺地区グランドデザインの改定にあたって</p> <p>(1) まちづくりとグランドデザイン</p> <p>(2) 改定の背景・目的</p> <p>(3) グランドデザインの位置づけ</p> <p>2. まちの将来像と将来の役割</p> <p>(1) まちの将来像</p> <p>(2) 求められる役割</p> <p>3. これからの蒲田のまちづくりで目指す姿</p> <p>4. 蒲田駅周辺地区の特徴</p> <p>5. まちづくりの基本方針</p> <p>6. まちづくりの目標</p> <p>7. エリア別の取り組み</p>	<p>⇒体裁 A4 に修正</p> <p>・今後の素案作成に向け体裁を A4 に統一した</p> <p>⇒[まちづくりの経緯]、[蒲田を取り巻く状況の変化]を追加</p> <p>(1) まちづくりとグランドデザイン</p> <p>(2) グランドデザインの位置づけ</p> <p>(3) まちづくりの経緯</p> <p>(4) 蒲田を取り巻く状況の変化</p> <p>(5) 改定の背景・目的</p> <p>・改定の背景・目的に至るまでの、より分かりやすい説明のため追加した</p> <p>⇒2. 求められる役割 絵の修正</p> <p>・都市マスに合わせて絵を修正した</p> <p>⇒3. まちの将来像 将来像の3つのイメージ（絵）を追加</p> <p>・蒲田を取り巻く状況の変化や取り巻く状況を踏まえて、将来像イメージ（絵）・説明文を追加した</p> <p>⇒4. まちの目指す姿</p> <p>5. まちづくりの基本方針と目標</p> <p>・まちの将来像→将来像の具体イメージとして目指す姿→目指す姿の具現化のための基本方針→基本方針に基づく13の目標という流れを繋げるため、「4. 蒲田駅周辺地区の特徴」は目標に後に記載。今後素案作成に向けて、アクションプランと照らし合わせながら、特徴である強み・弱みを整理する</p> <p>⇒6. エリア別の取り組みの方向性について</p> <p>・エリア別の方向性という大まかな枠組みに修正。素案策定に向けて詳細を検討する</p> <p>⇒（参考）区民参画について 追加</p> <p>・GD 改定に向けて、蒲田駅周辺に係わる多様な人々の意見を伺う区民参画を実施。参考として追加した</p>